

六年生 『風景 純銀もやいぐ』

五月 日

準備するもの 教科書100ページ～110ページ

(1) まずはこの詩をノートに視写してみよう。書くときは教科書のように、横につなげて書きこみよう。

(2) (風景の作者は誰ですか。
[空欄])

(3) この詩はいくつの連にわかれていますか。
※連とは(詩の中のまとまりのことです。)
[空欄]

(4) (連)と(何度も音読し、それぞれの連でどのような風景がうかんでくるか書いてみよう。

考えるときのポイント

- ① 3つの連の8行目「かすかなるむきみんえ」「ひばりのおしやへり」「
ながはな畑の「色」「広さ」「におい」「音」「なび、なのはな畑を想像しな
がら書きまわす。』。
- ② 「ながはな畑の「色」「広さ」「におい」「音」「なび、なのはな畑を想像しな
がら書きまわす。』。

① 一連

[空欄]

② 二連

[空欄]

③ 三連

[空欄]

(4) (3) で書いた風景を、ノートのそれぞれの連の下に絵で書いてみよう。

